



昭 和 六 年 工 事 タ イ ム ス 十 月 號

我國鐵道の初期建設史

來る十月十日日
は日本に鐵道が敷設されてから滿六十年に相當するので鐵道省では此日盛大な記念祝賀會を催す事になつてゐる。ただし現時に於ける我國鐵道の發達は初期建設當時に比べて思半に過ぎるものがある。我等茲に本邦鐵道建設史の一頁を掲げて祝意を表する。

- ▲明治2年11月10日鐵路制作決定に付き伊達民部兼大藏卿、大隅民部兼大藏大輔、伊藤大藏少輔に英國より金銀借入方締結の全權仰付らる。
- ▲明治3年3月19日民部大藏省に鐵道掛を置かる、10月20日大阪、神戸間石屋川改正の工事を起す
- ▲明治4年6月京都、大阪間の測量を始む、8月14日工務省に鐵道

寮を置く。

- ▲明治5年4月7日品川、横濱間を假に開業す、7月4日井上勝鐵道頭に專任さる。
- ▲明治6年12月26日京都、大阪間の工事を起す、
- ▲明治7年5月11日大阪、神戸間營業を開始す。
- ▲明治8年5月1日安治川支線開通す。
- ▲明治9年12月1日新宿、品川間復線通す。
- ▲明治11年8月21日京都、天津間の工事を起す。
- ▲明治12年11月1日川崎、鶴見間復線竣工す。
- ▲明治13年6月28日京都、天津間逢阪山隧道竣工11月14日品川、大森間復線竣工す。
- ▲明治14年5月7日新橋、横濱間鐵

道線路全部竣工す。

- ▲明治15年4月1日敦賀柳ヶ瀬迄列車開通。
- ▲明治16年4月1日長濱、關ヶ原間鐵道工事を起す、4月24日日本鐵道線熊谷前橋間の工事を起す7月28日日本鐵道の上野、熊谷間開通11月16日關ヶ原大垣間の工事を起す。
- ▲明治17年4月25日關ヶ原大垣の開通す。
- ▲明治18年3月1日日本鐵道赤羽、品川間開通す、7月16日直江津線の工事に着手、8月26日武豊線の工事を起す。
- ▲明治19年3月1日武豊線開通4月14日鐵道局を靈南坂に置く、11月2日東海道線幹線工事に着手す。
- ▲明治20年5月18日私設鐵道條例

線るので、『それでは一つ問題を出すから明朝迄に答へ見給へ』と言ふて。

『一本の紙をカシメルのにハンマーで何回打つたら恰度良いものか』

之を考へて見給へと云つた。

林君一晩考えたが中々分らない、翌朝やつて来て何うぞ教えて呉れと言ふ事になつた。

それから田中博士種々と意見を述べたが、數ヶ月後再び、日本橋梁會社の工場を視察した時には全然打つて代つた工場の整頓振りであつた。

爾來、林君は製品検査の前には自ら紙の寸法まで

調べて置く様になつた。而して眞に工場の人となつて益々整理改善に邁進する事になつた。斯くし林君の努力は日本橋梁會社を大ならしめたばかりでなく大阪に於ける各種工場の能率研究と増進に偉大なる貢獻をなす事となつた。

林君はモーニング・コートで重役然と納まつてゐる人でなかつた。眞に工事をやる人、身心を工場に没頭した、日本工事界の偉大なる一人物であつた。

彼は技術家ではないが、眞に工事精神を體得した努力家であつた。

工事界不振の際特に林君の逝去は惜しい事である

公布さる、7月11日横濱、國府津間開通。

▲明治21年4月9日九州鐵道工事に着手。

▲明治22年4月11日新宿、立川間開通す、6月16日横須賀線開通す

▲明治23年3月17日官設鐵道會計法公布さる、4月25日鐵道條例公布さる、11月25日關西鐵道四日市に達す。

11月11日日本鐵道盛岡に達す。

▲明治24年3月18日山陽鐵道岡山に達す。4月19日横川輕井澤間の工事を起す、7月1日日本鐵道上野、青森間全通す

▲明治25年3月1日日本鐵道は水戸鐵道を譲受く、7月6日鐵道廳に線路取調委員を置く、九月一日釧路鐵道線全通す、12月13日鐵道會議第一回の議事を開く、明治26年1月18日鐵道用品資金會計法公布さる、4月4日横川輕井澤間開通す、11月10日鐵道廳を鐵道局として逕信省に屬す。

○阿波池田分歧線開通 四國徳島本線阿波池田より分歧し三繩にいたる亘長三杆九分の線路建設工事はいよ〜完成し九日より運轉が開始された、同線は將來三繩より高知線角茂谷驛に延長される計畫で何れ近く次工區の施工が行はれる筈である。

《關東電鐵 愆よ着工》 關東電氣鐵道では7哩40鎊の第一期鐵道建設を行ふため、此の準備を進めて居たが今回右區間のうち最も難工事とされてある埼玉縣飯島村鶴戸沼埋立工事を差當り施工するに決定し東京小林組と隨意契約の上此の作業を開始した。

《宮城長野 間施工何》 九州大川線の國鐵建設豫定線中宮城

一長野間延長17杆に對する線路選定何ひが所管熊本建設事務所より提出されることとなつた、具體的に工事に着手されるのは昭和7年度中であると見られてゐる。

《青森縣失業救濟 道格起債認可》 青森縣營業救濟の道路格起債認可の關係あるものゝ内緊急施行を要するもの4萬5千8百圓のみの認可指令が發せられた。

《信濃川發電 漁業補償案》 鐵道省信濃川發電所の堰堤築造に伴ふ魚族繁殖の問題に就き九日午前鐵道省内に四省（農林、内務、逕信、鐵道）打合會を開催し最後の具體案を作成討議の結果大體左の如き方法を以て問題の魚族の保護及魚族の繁殖策を講ずることゝ決定した。（イ）堰堤に魚道を施設すること（ロ）養魚池四ヶを建造すること。

《和田堀淨水池工事 築城本部の教材に》 本誌四月號に紹介した東京市水道局の和田堀淨水池工事は、本年一杯に完成の豫定で着々工を進めてゐるが、外徑280尺32角形高35尺と云ふラーメンを應用せるこの特殊工事は設計の妙と施工の苦心の現れとして現代に於ける混凝土技術の最高潮に達せるものと云はれ、此程來築城本部の教材として研究されてゐる。

《上毛電力の 貯水池竣工》 豫て上毛電力で施工中であつた菅沼（貯水量10,00萬立方米）丸沼大尻沼（貯水量 12,87 萬立方米）の大貯水池工事は愈々此程竣成9月20日當局の検査を受けた。此貯水池は冬季湧水期に於て同社の發電出力が半減した場合その貯水を利用するものである。

《六十億立方尺の大貯水池を》 東京市水道局では山口貯水池工事に次ぐ第三期計畫として總工費約 5,000 萬圓をもつて奥多摩上流に自然の地勢を利用して貯水量60億立方尺の大堰堤を築造する計畫をたて實現を期してゐる。

《共同印刷 工場増築》 小石川の共同印刷株式會社ではかねて清水組に委託、工場増築の設計中であつたが此程完了起工認可を申請した。該工場は鐵筋混凝土六階建總延3,310坪の大建築である。○土木士法立案 土木學會では日本建築士會の建築士法案議會提出に對し、土木士案を作成提出する。

○山本卯太郎氏 我國可動橋の權威たる氏は糖尿病のため入院加療中の處此程全快退院活躍を開始せられた。

○青木周三氏 鐵道次官の氏は9月 日付依願免官となつた。

○久保田敬一氏 鐵道省運輸局長たりし氏は青木次官のあとをうけて同省次官に就任した。

○橋本敬之氏出發 大阪市電氣局に赴任する橋本敬之氏は、9月10日東京驛發の燕號列車で出發した。當日は午前八時すぎより見送りの知友續々と參集し、東京驛大ホールにて夫人及び令息知友に圍まれ乍ら、見送の人々に一々挨拶を交し、午前九時發車ホームに押寄せた數百名の歡呼裡に送られて大阪に向つた。見送人中には八田前鐵道次官を初め、中村謙、大河戸宗治、増山、黒河内四郎、池田嘉六氏等の前局長及現局課長連其他多數の鐵道技術關係者及び業界關係で賑つた。

尙氏の住所は兵庫縣武庫郡夙川アパートメント・ホテルである。